感 謝 状

株式会社クラダシ　様

この度は、貴重な浄財（10,000円）をご寄付いただき、心より感謝申し上げます。
昨年からのコロナ禍が続く中、フードバンクの食品配布を希望する方が増加し、当団体の活動が地域で必要とされていることを実感しております。
今回のご寄付も、その活動に活用させていただきます。ありがとうございました。

令和３年８月１日

フードバンクぎふ　代表　赤星守雄

“命”をつなぐ “生きる”を支える

フードバンクぎふ

2021年8月1日　No.4
発　行：フードバンクぎふ
連絡先：大垣市荒尾町1490-3
☎ 0584-92-1400
090-3383-2301（赤星）
✉foodbankgifu-jp@gmail.com

［振込口座］
◇ゆうちょ銀行【店名】二四八
【口座番号】普通０３８４６６
【口座名義】フードバンクぎふ
◇大垣共立銀行　荒尾出張所
【口座番号】普通１８１２２６
【口座名義】赤星守雄

5/29　フードバンクぎふ総会２０２１開催

『ＮＰＯ法人フードバンクぎふ』設立も決議しました！

総会では、コロナ禍で生活に困窮する深刻な地域の実態に、その役割がますます重要になっていることが報告されました。

これまでのセカンドハーベスト、東海COOP、フードバンク愛知、コストコなどに加えて、のあみ相談所などへも定期的に食品を受け取りに行くようになり、利用者さんへの支援が少し安定的にできるようになってきました。

また地元企業や農家さんのお米や野菜、麺類やお菓子など不定期ですが、品数や種類も増え、喜ばれています。

しかし、フードバンクぎふの事務所や倉庫、設備、水道光熱費や運送代などは、ほとんど個人の善意でまかなわれています。継続的な活動のためにも、財政基盤をしっかりさせていかなければなりません。そのために法人化を決議しました。

会場の宇留生地区センターには、広い会場いっぱい50名近くの方が参加。活発な意見が交わされました。合言葉、「命をつなぐ、生きるを支える」の横断幕も飾られました。

※食料支援が必要な方、お気軽にご相談ください。

大垣共立銀行と連携協定締結

７月14日、大垣共立銀行と「フードバンク活動に関する連携協定の締結式がありました。大垣共立銀行の常務取締役土屋諭さんから挨拶があり、「困っている人の声を聞き、悩みに応えるのが地域金融機関の使命」だと話されました。フードバンクぎふ代表の赤星さんは、ひとり親家庭の岐阜高専の生徒さんから、親の収入も減り、自分もアルバイトが少なくなって生活が困窮しているという声がメールで寄せられたことを紹介、「地元の大手企業である大垣共立銀行さんからのエールに感動しています。フードバンクは食品ロスをなくす環境問題であると同時に、コロナ禍における貧困問題に貢献する取り組み。食料は必ず必要としている人に届けることを約束します」と挨拶しました。

この日、OKB社会貢献部が社内に呼びかけて集めた食品約2400点と寄付金444,200円がフードバンクぎふに贈呈されました。

今後、OKBそうだん広場荒尾、藤江支店、笠松支店には専用箱とポスターがおかれ、地域からの支援物資を集め、寄付していただきます。

学生さん　がんばって！

７月１４日（水）、大垣市内の岐阜協立大学前で、「もうお腹すいてアカン！食料無料配布します」を行いました。

事前にまわりのアパートにチラシを入れると、「学生ではないのですが、生活が大変で・・・。もらえますか？」と電話が。大変なのは学生さんだけではないと実感。

当日は、チラシを見たり、ゼミの先生から聞いたという４０人以上があらかじめ袋につめた２０品と、お米や企業から寄付されたカルピスウォーター、ハイチュウ、大垣共立銀行からいただいたカップ麺やレトルト食品、玉ねぎなども次々と袋に入れていました。遠くネパールからの留学生も連れだって訪れ、とても助かりますと喜ばれました。

おしらせ

・・・・・・・・・・会場＆オンライン開催

サポーター学習会＆交流会

8月29日（日）１０～１２時　大垣市宇留生地区センター

① ひとり親や子どもの貧困に関する施策について
　　上野学さん（岐阜県健康福祉部子ども家庭課）

② 困ったときの生活保護　岡崎勝彦さん（海津市社会福祉協議会）
　　小池直人さん（元名古屋市職員）

☞ 申込先　090-9939-2447（稲垣まで）どなたでも参加できます。
オンライン参加希望の方は　sugittya@dream.com にメールでお申し込み下さい。

【最近の主な食品提供先】　ありがとうございました♪

大垣共立銀行・森永製菓・岐阜産研工業・カルビー・中日本氷糖・のあみ相談所・フードバンク愛知・ナプテスコリンク・セカンドハーベスト名古屋・コストコ羽島店・大光・東海コープ（冷蔵食品）・コープぎふ西濃支所（乾物）・各務ヶ原と大垣イオンわくわく広場（野菜）・ミスベティさんのワッフル、個人の方からラーメンとチャーシュー、季節の果物や野菜。現金の寄付は、支援物資の郵送代、食品引き取りや配達の運送費（ガソリン代など）、精米代、食品保存用冷蔵・冷凍庫の電気代などに充てさせていただきました。

●フードバンクぎふに、「わた菓子製造機」の寄付がありました。貸し出ししていますので、どんどん活用してください。

大垣市西地区で行われた「和っとひろばみんなでつくるプレイパーク」では、子どもたちに大人気。かわいい笑顔がたくさん見られました。

フードバンクぎふは、地域の子ども食堂さんへも食品提供をしています。

編集後記

最近、本部では、他県から働く場所を求めてやってこられる派遣労働者の方からのSOSがいくつかありました。その多くが職場を点々としていて、お金だけでなく、身の回りのものを持っていません。家具はもちろん、鍋や食器に至るまで何もです。そのため、支援は食料だけでなく、洗剤、ティッシュ、タオルなどの日用品を手渡すこともありました。派遣で仕事をしている方は、社宅付きの会社に入ることが多く、派遣切りにあえば住居も失い、次の職場はどこになるかわからず、荷物も処分しなければなりません。そのため身一つで移動することになるようです。日本では、今、非正規雇用は４０％を超えています。社会的孤立は、こうした働き方の変化も関係しているのかもしれません。（船）